

林業福島

No. 617

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 齋藤卓夫



1

2016

監修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 薪の芸術



復興の新たなステージに向けて

福島県知事
内堀 雅 雄

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

震災から間もなく五年を迎えようとしております。今もなお十万人もの県民の皆さんが避難生活を続け、廃炉・汚染水対策や被災者の生活再建など課題が山積しており、復興はまだ途上であります。

その一方で、昨年はふたば未来学園高等学校の開校を始め、環境創造センターなどの復興を支える拠点施設の整備進展や文化・スポーツでの若者の活躍など、明るい光が着実に広がりをを見せております。

県民の皆さんがより一層復興を実感できるよう、昨年末に改訂した復興計画に基づく重点プロジェクトを確実に実行に移し、スピード感を持って取り組んでまいります。

中でも、避難地域の復興再生は最優先課題であります。環境回復や生活再建はもちろん、医療や公共交通などの広域的な課題への対応やイノベーションコースト構想の具体化など、一日も早い避難地域の復興再生に向け、県民の皆さんが安全に安心して暮らせる環境づくりを進めてまいります。

また、経済や産業に活気がなければ福島復興は成り立ちません。農林水産業、商工業、観光業などの既存産業の再生はもとより、再生可能エネルギーや医療関連産業を始め、ロボット関連産業、航空宇宙関連産業など、新たな産業が福島の地で生まれ、育っていくよう取り組みを進めてまいります。

さらに、復興と併せて取り組まなければならないのが地方創生であります。昨年末に策定した地方版総合戦略の各施策を重点的に推進し、人口減少の克服と地域の活性化をしっかりと図ってまいります。

このほかにも、風評・風化対策、避難者支援、強い農林水産業の再生、活力ある商工業づくり、社会生活基盤整備など、山積する課題の一つ一つに全力で取り組んでまいります。

震災・原子力災害からの復興と地方創生を二つの大きな柱として、直面する課題に果敢にチャレンジし、「生まれて良かった、住んで良かった、来て良かった」と思える福島県の実現を目指して、全力で県政を運営してまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

《も く じ》

とびら	林業労働力確保支援センターだより……	6
復興の新たなステージに向けて	ゆたかな森林の恵みを暮らしの中へ……	7
福島県知事 内堀 雅 雄……	「自然に親しむ」……	8
集中復興期間から復興・創生期間へ……	普及指導員通信……	9
新春特集	森林管理署メモ……	10
若手林業男子が新年の抱負を語る 3～4	森連だより……	11
「女子力で！森林・林業魅力向上講演会」を開催……	木材市況・ふくしま東西南北……	12
	はなしのひろば……	13

集中復興期間から復興・創生期間へ

農林水産部次長 (森林林業担当) 水戸 典明

東日本大震災から満五年になろうとしていきます。政府は、平成二八(三二)年度を「復興・創生期間」と名付け、新たなステージにおいて、地方創生のモデルとなるような復興を目指すとしています。

このような中、本県の復旧・復興は、県民の皆様のご努力と、応援してくださる方々の力強いご支援を受け、各地で着実に光が増えています。

地震に伴う津波で一五五鈴が流出した海岸保安林は、林帯幅を拡大するなど機能を強化し六七〇鈴あまりの海岸防災林を造成しており、いわき市から相馬市にかけての九地区全てで事業に着手し、うち一地区が完了、相馬市と南相馬市では植栽も進められています。

また、環境省は原発事故に対して「必要な流出・拡散防止対策を進めることが重要」とする、森林における放射性物質対策の方向性を示したところです。県は、森林施業等によ

る空間線量率の低減効果や表面土壌の流出抑制効果などの実証を重ね、効果的な対策を講じるよう国に繰り返し提言してきており、今後とも適正な対策をとるよう求めてまいります。

間伐などの森林整備は、震災後に停滞しましたが、平成二五年度に「ふくしま森林再生事業」が創設され、現在、汚染状況重点調査区域のほとんどである三七市町村で森林整備が推進されています。間伐や路網整備と、木柵等による拡散抑制や各種調査による放射性物質対策とを一体的に実施し、森林・林業の再生が前進するものと期待されます。

木材の振興につきましては、震災復興に必要な木材需要に的確に対応できるよう、高性能林業機械の導入や木材加工流通施設の整備など県産材の供給体制の整備促進を支援してまいりました。また、新たな製品・

技術を開拓するため、CLTの生産拠点整備に向けた産学官連携による検討や、木質バイオマス活用技術の実証など、新たな県産材の利用にチャレンジしています。

きのこ類につきましては、原木の放射性物質濃度を短時間で測定できる非破壊検査機器や放射性物質を除去するウェットプラスチック洗浄装置の導入を進め、本県産原木の回復を目指しております。野生きのこの出荷制限解除に向けてのモニタリング検査に取り組んでおり、先に示された国の方針に基づき、協議に臨んでまいります。

これまでの取組により、平成二五年度の林業産出額が対前年比一二六割と増加に転ずるとともに、県産材の生産量が七五万立方メートルと同程度の水準まで回復しています。

昨年九月の関東・東北豪雨による山地等の被害につきましては、災害関連緊急治山事業、林道施設災害復旧事業等の手続きが進んでおり、林道を管理する市町村とも連携し、早期の復旧を目指します。

平成三〇年には本県で第六九回全国植樹祭が開催されます。先日、国土緑化推進機構との協議が整い、南相馬市原町区の雪地内の海岸防災林に会場が確定しました。荒れた国土を緑にとり、全国植樹祭の原点を見つめる意義深い大会となりますので、一人でも多くの方が参画できるように準備を進めてまいります。

復興・創生の言葉に込められたように、新たなステージにおいても、地方創生のモデルとなるような復興を目指してまいります。



原木の非破壊検査機器

新春特集

若手林業男子が新年の抱負を語る

本県では、県民一人一人が主役となってふくしまの復興と未来を見据えた森林づくりが進められています。

新春に当たり、森林整備に頑張っている若手林業男子の皆さんから、今年の抱負を語っていただきました。（順不同）



「日本の森林・林業の発展に貢献したい」

福島森林管理署 郡山森林事務所

木口 貴博

今年度採用されて早くも八ヶ月程が経ちましたが、業務はまだまだ分からないことが多いです。学ぶことの多い毎日です。現場を直接管理する森林事務所に配属され、輪尺を使っての収穫調査やコンパスを使っての境界巡検、林野巡視等、実際の現場に出て仕事ができ光栄に思っています。

若い頃から森林が好きで、将来は森林・林業に関わる仕事に就くことを目標としてきました。目標をかなえるため高校を卒業後農林大学校に入校し、森林・林業について二年間勉強しました。そして現在森林・林業に関わる職に就くことができ、学生時代はまず就職することを目標に考えていましたが、学生が終った今でも学ぶことが多く、毎日が勉強だと考えさせられ

ています。働いていく中で、多くの森林・林業の情報に触れる機会が増えました。その中で日本の林業は、木材自由貿易化により国産材の低迷等、利益があまりでないという状況にあると知り、そこでコスト削減や利益還元を目指した造林等について勉強し、将来的には少しでも日本の森林・林業の発展に貢献できたらと考えています。



私は、緑化や森林環境交付金事業等を担当しております。市町村等の方々との調整の中では、「聴く」ことを心がけて仕事に取り組みで行きたいと考えています。

また、市町村独自の森林づくりの活動に対して交付する森林環境交付金事業では、各市町村の状況や考え方を含めた調整の重要性を学ぶことができてきました。本年は、一層の事業の理解に努め、効果的



に地域の課題や需要に取り組みめるような調整を進めていきたいと考えています。相双管内では、先日、檜葉町の避難指示が解除されるなど復興の加速を感じられる明るいニュースがある一方で、住民の帰還に対する不安も報道されており、復興に対する二面的側面を感じることも、放射性物質の問題に対する地域間の向き合い方の違いを実感しています。地域の方々の声を真剣に聴き、地域の課題や実情を考慮した対応を検討できるように努めていきたいと考えています。

「地域の声を聴くことに心がけたい」

相双農林事務所 森林林業部 林業課

櫻井 哲史

「新たな自分となるために」

郡山市森林組合

橋本真樹



平成二二年十一月、私は郡山市森林組合に就職し林業の世界への第一歩を踏み出しました。それから今まで、林業に対して自分なりに向かい合ってきたつもりでした。

しかし、日々の仕事はなかなかうまくいかず、周囲に迷惑をかけてしまうことばかりでした。来年度はこうしたい、こうなればと意気込んでみるものの、日を追うごとに今までの自分に戻ってしまい、成長することが出来ずにいました。

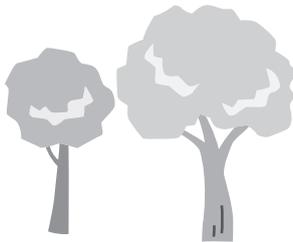
こうなってしまうのも、自己の仕事を理解し、先を読み、計画的に作業をすることが出来なかったことが原因であると思います。

また、自分の行動や作業一つ一つに自信が持てず、一つの作業を終わ

らせる為に費やす時間が非常に多くなり、結果他の作業に使える時間がなくなることで自身の首を絞める結果になってしまいうことも改善すべき点であります。

本年は、この問題を改善するため、仕事を計画的に進められるようにし、自己を管理できるようにしたいと思えます。計画性を持って行動することで時間を有効に使い、現場の管理を無駄なくこなせるようにしたいです。

そして、自分の行動に自信、確信を持てるように、更なる知識を身につけ、資格を取ることも積極的に取り組む「前進主義」の自分になれるよう努力しようと思えます。



「効率と安全をテーマに頑張りたい」

磐城造林株式会社

堤 祐太朗

自分がこの仕事についたきっかけは、小説でした。ただ単純におもしろそうだなと思いついたこの林業という仕事を選びました。一年目は言われたことをこなすのが精一杯で体力的にも大変でしたが、やりたくて始めた仕事なのでやめたいとは思いませんでした。また、小説での知識しかなかったたので実際に何十年も働いている先輩の話聞くのもおもしろかったです。学ぶことの多いことばかりで、あつという間に一年が過ぎていきました。

二年目は、一年目でやったことの繰り返しなので、一年目より余裕ができてきて、自分なりにどの様にすれば良いのかなど考えて、できる様になったと思います。そして三年目ですが、効率を考えられる様になつたといえまだまだ全然できないことの方が多く、三年目はいかに効率良く、また安全にできるかをテーマに一年頑張りたいです。また、伐倒はあまり経験がなく技術も未熟なので、伐倒の技術を上げて正確に

狙った方向に倒せる様にしたいです。他にも重機の操作も覚えたいと思っているので機会があればどんどん乗っていきたいです。

毎年少しずつでも技術を上げていき、出来るだけ長くこの仕事をやっていきたいと思っているので、安全に作業することや体調などにも気を使って今年も頑張っていきたいと思っています。



「女子力で！森林・林業 魅力向上講演会」を開催

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

十二月三日（木）、福島市内のホテルを会場に「女子力で！森林・林業魅力向上講演会」を開催しました。この講演会は、森林・林業活性化に向け多様な形での女子力の発揮が期待されていることから、その契機となるよう開催したものです。会場には、森林・林業に関心のある女性の方や、女性の活躍を期待し協賛・後援をいただきました機関・団体の方、約六〇名が参加しました。

まず、ミス日本みどりの女神を賞された佐野加奈さんのトークショーで講演会が始まりました。佐野さんは、二〇一五年に新設された初代ミス日本みどりの女神で、全国各地でみどりと木への親しみを広げる活動をしています。佐野さんは、参加した森林づくりや緑化活動等の感想を交えながら森林・林業にはたくさん魅力があることを語りました。また、車両系建設機械運転免許を取得し、「女性も機械で仕事ができる」ことを実践されたことも紹介しました。

もりらバーは、二〇一三年に全国で七番目に設立された林業女子会で、女性の視点で林業を応援する様々な活動をしています。砂山さんは、林業女子会で実施している活動や女子会だからできる伝え方、女子会の運営など、多岐にわたる示唆に富んだ取組を力強く語りました。なるほど、四名で始めた女子会が、二年間で七〇名が増えることは当然であると納得しました。

最後に、参加者を七グループに分け講師も加わり交流会（ティータイム）を開きました。参加者は、コーヒーとケーキを楽しみながら、新しい仲間と和気あいあいに意見交換し、「お二人の講演は、林業に対するとても熱い思いに感動した。」「林業女子会に参加し林業の楽しみ方をもっと知りたい。」などの感想が寄せられました。

平成三〇年には、南相馬市の海岸防災林を式典会場に第六九回全国植樹祭が開催されます。本講演会を契機に森林・林業を盛り上げる女性の輪がさらに広がり、復興・再生に向けてさらに女性が活躍することを期待しています。



佐野さんによるトークショー



砂山さんによる活動報告



交流会（ティータイム）



参加者で記念撮影

講習のカリキュラム

1日目 (11/9)	オリエンテーション
	林業の基礎知識 (森林の現状 [管理・保全を含む])
	〃 (林業の動向 [生産・経営・労働力])
	〃 (木材産業 [木材需給・木材価格])
2日目 (11/10)	安全衛生に関する知識 (労働災害の現状と対策)
	〃 (林業における健康管理)
	林業作業の体験 (チェーンソー作業の見学)
3日目 (11/11)	〃 (高性能林業機械の見学)
	〃 (枝打ち作業体験)
	〃 (丸太切り作業体験)
4日目 (11/12)	林業職場の見学 (原木市場)
	〃 (木質バイオマス施設)
4日目 (11/12)	講演「林業就業を志すために必要なこと」
	林業への就業・生活相談
講習の総括・修了者証の交付・アンケート記入	

午前は、石川郡石川町で「ふくしま中央森林組合」の協力をいただき、チェーンソー伐倒と高性能林業機械による造材作業を見学しました。午後は、郡山市逢瀬町の「ふくしま緑の森づくり公社」の造林地をお借りし、同公社・

〇2日目
午前は、石川郡石川町で「ふくしま中央森林組合」の協力をいただき、チェーンソー伐倒と高性能林業機械による造材作業を見学しました。午後は、郡山市逢瀬町の「ふくしま緑の森づくり公社」の造林地をお借りし、同公社・

◎林業就業支援講習とは
厚生労働省委託事業で、今年度から新設された五日間コース(体験・見学のみの)と従来からの二〇日間コース(実地研修・資格取得)があり、全国各地で開催されています。
(詳しくは「林業就業ナビ」で検索)

本県では、十一月九日から十二日の四日間で開催しました。参加者は、林業就業を目指す方で、県外から七名、県内から八名(女性三名)の参加をいただきました。
◎1日目
郡山市の「ビッグパレットふくしま」において、林業の基礎知識として「森林の現状・林業の動向・木材産業」について、安全衛生に関する知識として、「林業の労働災害の現状と対策」の講義の後、福島県産業保健総合支援センターの山屋さんから、食事・睡眠・熱中症対策等の健康管理に関する講義を受けました。

林業労働力確保支援センターだより
林業への就業を目指す
もりもり
森林男子 森林女子へ!
「林業就業支援講習 in 福島」を開催!



4日目 就業・生活相談



3日目 原木市場見学



3日目 バイオマス施設見学



2日目 チェーンソー伐倒見学



2日目 枝打ち体験

〇3日目
午前、郡山市田村町の「福島県郡山地区木材製材協同組合」の国産材加工流通施設(郡木協かねざわ)の概要等の説明を受けた後、原木が集積されている状況等を見学しました。午後は、いわき市遠野町の「遠野興産(株)」で「木くずのカスケード利用」についての講義を受けた後、チップ製造・ペレット製造の工程を見学しました。

〇4日目
「福島県きのこ振興センター」において、「林業就業を志すために必要なこと」と題して、当支援センターの「緑の雇用」現場技能者育成事業の指導監督検査をお願いしている五十嵐保雄氏に講演をいただきました。林業就業者にとって必要なこととして

「林業技術の習得、計画性を持つこと、協調性を持つこと、安全を確保すること、謙虚さを忘れないこと」を挙げ、心がけてほしいこととして「報告・連絡・相談+挨拶」と話されたほか、「緑の雇用」の研修生や事業主等のコメントの紹介、本県林業に関する最近の新聞報道などについてお話しをいただきました。午後から、相談員二名で受講生一人一人から、生活や就業に関する相談を受け、住宅情報や求人情報、林業事業者の情報などを提供しました。全ての講習修了後、全国森林組合連合会長名の修了証を交付しました。



4日目 受講生と五十嵐さん

〇修了者のアンケートから
回答の中で、「受講した感想は」では、「大変良かった」が七名、「まあまあ良かった」は八名でした。受講してみても林業就業への気持ちについては、「すぐにでも就職したい」四名、「選択肢のひとつとして検討したい」が十一名でした。

〇おわりに
今回の講習では、林業事業者等の温かいご協力のもと、林業への就業を志すいきいきとした方々と数多く接することができました。今後とも、よろしくお願ひします。

ゆたかな森林の恵みを暮らしの中へ

東白川郡森林組合

現在、身近な生活用品がアルミニウムや鉄、プラスチックに変わり、木材の利用が減少している状況にあることから、地域の皆さんが、木材に触れ・森林環境保護の大切さを考える機会を作りたいと思い、様々な製品を試行錯誤しながら作成しています。

私たち東白川郡森林組合では地域の森林を守るために管理し、そこで発生した木材を利用して企画・製品化し、地域のイベントや小学校の事業に提供するほか、子供達への木工教室も開催しています。

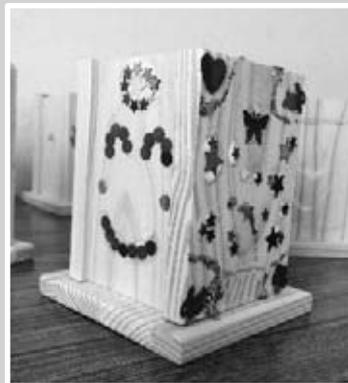
木材は他の材料と比べて、製造時のエネルギーが少なくなっています。例えば、木材製造時（人工乾燥材）の炭素放出量は、鋼材の五三分の一、アルミニウムの二二〇分の一にと言われています。



福島県農業短期大学校に納品されたテーブルと椅子
デザインは福島県農業短期大学校の生徒によるものです。



木材を使うことが森林整備や環境保護につながることも子供たちは学んでいきます。



木工教室で体験することで木材の魅力に触れる貴重な機会に。



好評なのが、地元地域材を使ったネームプレート。
材料はスギ、ヒノキ、ナラ、カエデなど、サイズは名刺サイズから名札サイズまで対応。価格は一、〇八〇円（税込）となっております。
この名札で皆さんも福島県の木材をPRしてください。

「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 | 10 |

御蔭廼松

樹木医 鈴木俊行



「御蔭廼松」は、伊達郡桑折町字上町地内の無能寺境内に生育している。生育地の無能寺は、桑折町役場正面玄関北東の道路を挟んで接した場所にある。無能寺の歴史は、創建が慶長元年（一五九六年）に良然上人が開山したと伝えられ、当初は大光山正徳寺と称したが、江戸中期に、本寺から輩出した高僧として名高い無能上人の名を取り、無能寺と改めたといわれている。

本樹の「御蔭廼松」の名称については、明治十四年（一八八一年）に、明治天皇が東北巡幸の際、無能寺が御休所となった時、侍従杉内大輔が「おほきみの みかげの松の深みどり 夏も涼しき 色に見えつつ」と詠んだことから、明治天皇が「御蔭廼松」と命名されたといわれている。

本樹の生育地は無能寺の境内で、本堂正面東側の境内の中心に生育している。境内の地形は平坦で、本樹の南側には、池やケヤキなどの高木が生育し、東側は鐘楼や山門があり、その周辺には手入れされたアカマツやサワラなどの高木のほか、フジやアヤメ、タラヨウなどがあり、歴史を感じるとともに四季折々楽しめる。

樹種は、マツ科マツ属のアカマツである。樹齢は、四〇〇年とも五〇〇年ともいわれる古木で、平成二〇年四月四日に「無能寺の笠マツ」の名称で、福島県天然記念物に指定されている。

形状寸法は、樹高六・〇〇m、幹周三・〇〇m、根元周五・九〇mの巨樹である。主幹は、地上二、二mほどの高さから東西に二本に分岐し、そこから四方に多くの枝を分岐させ、大きく枝をのびし笠状の樹冠を形づくっている。また、主幹は地面を這うように大きく傾斜しながら西側の本堂の方へ二、二mほど伸長し、そこから二本の主幹に分岐し四方に広がっている。主幹には腐朽患部の治療跡があり、コブ病の罹病も見られる。

枝張りには、東六・五〇m、西九・



五〇m、南五・〇〇m、北八・五〇mと、四方に均整のとれた笠をかぶったような樹冠を呈している。樹冠内の小枝は無数の竹で格子状に組まれた上に広がり、多くの丸太支柱で支えられている。

参道は、本堂に向かって松の根元北側を幹に接するように真直ぐ通っていて、参拝者は、本樹の樹冠の下をやや頭をかかめるようにして、マツのパワーと巨大さを感じながら通っている。

本樹は、一時期、根元の踏圧等により樹勢が衰退したが、土壌改良などの治療により、樹勢は回復が見られるようになった。また、剪定やマツクイムシなどの病虫害の防除など育成管理も定期的に行われており、その大きさを苦勞されている。

本樹は、主幹の太さもさることながら、枝張りの大きさと均整のとれた笠状の樹形は見事で、県内でも随一の笠マツの巨樹である。

小学校と連携した緑化活動 「苗木のスクールステイ」について

■ 県南農林事務所
林業普及指導員 笠原 航

平成30年に第69回全国植樹祭が南相馬市で行われることが決定し、その気運を盛り上げるため小学校と連携した緑化活動を推進しています。今回は、その中の一活動である苗木のスクールステイに関する取り組みについて報告します。

まずはじめに緑化活動の推進に当たり、県南農林事務所管内には緑の少年団が24団結団されていることから、緑の少年団活動の推進に協力をお願いするため各小学校を訪問したところ、震災以降、森林をフィールドとした活動を自粛している学校もあり活動状況は様々であることや、小学校では既に授業や行事が組まれており活動に割ける時間が少ないといった状況が判明しました。

それを踏まえ、苗木のスクールステイへの参加を依頼するに当たっては、県南教育事務所、白河市教育委員会及び白河市農林整備課に協力をいただき、校長会等でこの活動について説明する機会を提供していただくとともに、各小学校を個別訪問し先生方に対して、教育的な観点からも児童にとって良い活動であることや昼休みなどを利用して取り組めることなどを説明し、理解を得られるようにしました。

その結果、県南農林事務所管内で14の小学校で苗木のスクールステイに取り組んでいただいています。(12月15日現在)

応募があった小学校を福島県もりの案内人の方などと一緒に順次訪問し、ドングリの播種作業を児童の皆さんに実施していただきました。作業前の説明では、これから育てていただく苗木の一部が津波で被害を受けた南相馬市の海岸防災林に設けられる全国植樹祭の会場に植えられることなどを説明し、児童の皆さんに活動の意義を感じていただけるようにしました。

児童の皆さんは、もりの案内人の方のドングリを食べるリスやネズミの話に笑顔になったり、ドングリにいるゾウムシや幼虫を見て驚いたりしていました。また、真剣な様子でドングリの播種作業を行い、これから一生懸命ドングリの世話をすると話しておりました。

3年という長い期間となりますが、児童の皆さんや先生方に取り組んで良かったとっていただけるよう今後も一緒に活動を行っていきたくと考えています。

また、次年度においては、今年度縁のあった小学校だけでなく、その他の小学校とも連携を深めていけるよう、今年度の経験を踏まえて働きかけを行いたいと考えています。



作業前の説明の様子



作業中の児童の皆さん



植付を待つ盛土台地（松川浦国有林）

森林管理署メモ

黒松よスクスクと

新年明けましておめでとございます。
 平成二八年が福島のエ業にとつて

大きな飛躍の年となりますよう取り
 組んで参りたいと考えておりますの
 で、本年もよろしくお願ひいたします。



磐城森林管理署

今年の冬は暖冬？のよう、年末
 も比較的暖かな日を過ごしてきまし
 たが、最初の冬を越そうとしている
 海岸防炎林のクロマツ苗にとつて
 も、ありがたい気候ではないかと思
 いながら正月を過ごしています。

県浜通り地区の最北に近い相馬市
 松川浦では、約六〇鈴の造成盛土に
 平成二七年春から本格的に黒松コン
 テナ苗の造林作業が始まっています。
 この冬までに、約二割の植栽と
 防風柵工を終えたところですが、当
 地は御覧のように湾口に突き出した
 半島状で、津波により完全に裸地状
 態となった海岸林。海からの強風
 と、特に冬場は陸側から吹き付ける
 厳しい寒風にさらされる場所となっ
 ています。

防風柵があるというものの、人

為で造成した盛土箇所への植栽です
 ので立地条件・気象条件は最低レベ
 ル。夏場は好調だったコンテナ苗
 が、最初の冬を元気に越せるかどう
 かがカギと考えております。現地の
 担当職員らも定期的に成長量・根の
 掘取り調査など貴重なデータ集積を
 行いながら管理をしています。地
 上部は同じように見える苗木も、地
 中部になると千差万別の動きをして
 いることが解つてきて、興味津々で
 調査継続中です。

当地では地元等のボランティア団
 体の皆さんを公募して防炎林造成に
 御支援をいただいているところです
 が、こちらも菌根菌の共生に取り組
 み、トリユフを収穫してやろうなん
 て楽しい挑戦もされたりしている意
 欲的な皆さんが参加く
 ださっています。

森林の再生となれ
 ば、何十年にもわたる
 気の長い取組ですが、
 まずは今年の春を楽し
 みに：というところで
 しようか。どうぞ皆様
 引き続きよろしくお願
 ひいたします！



コンテナ苗



ボランティア植栽状況

森連だより

第28回全国森林組合 大会開催

森林・林業・山村未来創造運動
～次代へ森を活かして地域を創る～



去る十月二十八日、東京
都内の日比谷公会堂を会
場に、全国森林組合連合
会主催の第二八回全国森
林組合大会が開催され、
森山農林水産大臣をはじめ
多数の来賓が出席され
ました。

- 大会会場に掲げられた、次の八つ
の柱からなる決議(案)が、満場一
致で承認されました。
1. 林業の成長産業化の実現によ
る組合員の所得向上
 2. 森林組合系統運動の着実な実
行
 3. 森林吸収源対策等に必要な
国・地方の安定財源の確保
 4. 主伐・再造林の推進と、ウツ
ドファースト社会の實現によ
る日本林業の復活
 5. 平成二八年度林業予算確保と



- 次世代林業基盤づくり交付金の
実現
6. 緑の雇用事業、森林施業プラ
ンナー育成対策事業による人材
の確保・育成
 7. 森林保険の二斉加入の促進
 8. TPP協定発効にかかる国内
林業対策の強化

大会は、森林組合関係者参集のも
と、「JForest 森林組合綱領」
を唱和に始まり、主催者である全国
森林組合連合会佐藤代表理事会長
の挨拶、森林林業の発展に功績の
あつた系統の団体、個人への表彰が
行われました。

本県からは、農林水産大臣表彰三
件のうち特別功労者表彰として、秋
元公夫氏(現双葉地方森林組合代表
理事組合長、福島県森林組合連合会
代表理事会長)が、森山農林水産大

臣より賞状を授与されました。
また、林野庁長官表彰(十件)、
全国森林組合連合会会長表彰(六一
二件)により、全国で六二五の個人
及び団体が受賞されました。
福島県内の受賞者は次の方々です
ので、ご紹介いたします。

『農林水産大臣表彰』

特別功労者表彰(一名)

秋元 公夫

『林野庁長官表彰』

特別優良連合会表彰(一団体)

福島県森林組合連合会

『全国森林組合連合会会長表彰』

優良組合表彰(一団体)

いわき市森林組合

功労者表彰 永年勤続職員(二名)

内儀 紀恵(西白河地方森林組合)

古川 美和(いわき市森林組合)

功労者表彰 作業班員等(十一名)

本田 勝彦(田村森林組合)

芳賀 守(西白河地方森林組合)

熊田 甚哉(西白河地方森林組合)

上妻 三好(いわき市森林組合)

中野 孝一(いわき市森林組合)

吉田 佑輔(いわき市森林組合)

渡部 敏雄(相馬地方森林組合)

佐々木 元(相馬地方森林組合)



- 但野 勝久(相馬地方森林組合)
島 直人(相馬地方森林組合)
丸山 竜平(相馬地方森林組合)
功績のあつた定年退職者にかかる表彰(一名)
原 元幸(会津北部森林組合)
星 文芳(下郷町森林組合)



素材の価格〈工場着価格〉（10月15日現在）

（単位：㎡当り千円）

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)	0	9 (8~9)	0	9 (8~10)	0
		10~13				11 (11~12)	0	11 (11~11)	2	10 (10~10)	0	11 (10~12)	1
	中	14~18	3.00	並	スギ	12 (10~13)	1	13 (13~13)	1	11 (10~12)	1	12 (10~13)	1
						ヒノキ	14 (12~15)	1	(0~0)	0	15 (15~16)	0	15 (12~16)
		6.00	並	スギ	17 (15~19)	1	8 (8~8)	0	15 (14~16)	0	15 (8~19)	1	
			並	ヒノキ	25 (24~25)	0	(0~0)	0	22 (19~25)	0	23 (19~25)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	12 (11~12)	2	11 (11~12)	△1	10 (8~12)	1	11 (8~12)	1	
		4.00	並	アカマツ	10 (8~11)	2	(0~0)	0	7 (6~8)	0	9 (6~11)	1	
		1.80	並		6 (5~6)	1	(0~0)	0	6 (4~7)	0	6 (4~7)	1	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)	0	(0~0)	0	31 (27~35)	0	31 (27~35)	0
並				米マツ	35 (35~35)	0	31 (31~31)	1	32 (29~35)	0	32 (29~35)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	28 (27~28)	0	28 (27~28)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	34 (28~39)	0	34 (28~39)	0	
南洋材		70~90	8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
				並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
パルプ用材	-	-	並	マツ	(5~5)	0	(0~0)	0	5 (5~5)	0	5 (5~5)	0	
			並	広葉樹	(7~7)	0	(0~0)	0	7 (7~7)	0	7 (7~7)	0	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)		7 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	8 (6~9)	*	8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	13 (12~14)	1	10 (9~11)	0

- 注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
 2. () 内は各地域の価格幅、() 外は各地域の平均価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

九月の原木市場への入荷状況は、前月比二四割減（前年比二割減）の一六、三七四立方メートルとなっている。販売量については、前月比一五割減（前年比二二割減）の一六、六八八立方メートルとなっている。十月の価格については品薄の影響による小戻す動きが続いている。

先日、楢葉町の避難指示が解除され、南相馬市小高区にも避難指示解除



食堂は、震災前は南相馬市小高駅前であり、昭和二六年から続く老舗です。原発事故で小高区が警戒区域に指定されたことにより、新潟県三条市に一時避難していましたが、平成二三年十一月から南相馬市鹿島区の「かしま復幸商店街」で営業を再開しています。かしま復幸商店街は、鹿島駅近くのドラッグストアの向かいの仮設商店街です。食堂の人気メニューがラーメン（中華そば）で、中細ちぢれ麺が鶏・豚出汁のさっぱり系醤油スープによく絡んでおいしいです。ラー油で炒めたもやしと豚肉をトッピングした、もやしラーメンも人気です。

除の見通しが示されています。食堂は、避難指示が解除されれば、小高区で営業を再開したいと考えているそうです。私は昨年採用いただき、南相馬市の生活も一年半になります。復興関係工事が進み、特に海岸部の風景は赴任当初と変わってきました。先日、全国植樹祭の式典会場が南相馬市原町区雲に決まるなど、緑化等のイベントも一層盛んになってきています。地域に明るいニュースが増えるように仕事に取り組んでいきたいです。



相双のラーメン紹介 第2弾!

相双農林事務所 森林林業部 林業課 櫻井哲史

平成二六年六月に紹介したドライブインに続き、今回も相双管内で有名なラーメン店を紹介いたします。ここはいつも混んでおり、なかなか入ることができなかつたのですが、今回初めて噂のラーメンを食べることができました。

表紙の写真



「薪の芸術」

第12回ふくしま森林・林業写真コンクールで優秀賞を受賞した坂本禮三さん（福島市）の作品。

はなしの
ひろば

新しい年に

一月は、晩冬。寒さが一番厳しい季節だが、新年を迎えた私たちの暮らしには、「新」や「初」のつくしきたりや光景がなんと多いことか。自分の内でもせめて歳神様が宿っている松の内までは、「新」や「初」にこだわってみようと思うが、年が明ければ、去年のことは「初昔」といい、もうすでに過去に思いを馳せることになる。が、昔に「初」がつくとどこことなく新しい印象になるから楽しい。

また、おめでたい新年に、天から雨を賜るという意味で、元日または三ヶ日に降る雨を「御降」と呼ぶ。それにもまた瑞々しい生命の水を感じる。冬の大地の中で、芽吹く準備をしている生命が、その滲み入ってきた一滴で、静かに動き始める予感がする。「新」や「初」には、私たちが、それぞれ新しい気持ちで、それぞれの早さで、自然に動き始めることを促す力があるのかも知れない。

年が改まると、私は、新しい手帳の始まりに必ず書く言葉がある。井上ひさしさんの言葉だ。

難しいことをやさしく／やさしいことを深く／深いことをおもしろく／おもしろいことをまじめに／まじめなことを愉快地／愉快なことはあくまでも愉快に／

仕事や人間関係の難しいことを、自分なりにやさしくシンプルに解きほぐしていく過程が、まじめに深くてもおもしろい。そして愉快になる糸口になる。今年も、自分の「愉快」に向かって、新しい内に、まずは、自分の心を動かしてみたいかがだろうか。

（都）

編集

福島県内四森林管理署

福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林組合連合会

福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業協同組合

ふくしま緑の森づくり公社

森林総合研究所福島水源林整備事務所

福島県森林・林業・緑化協会

（福島市中町五番一八号県林業会館内）

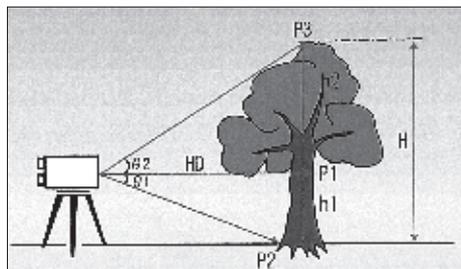
発行人

相馬 陽光社印刷株式会社

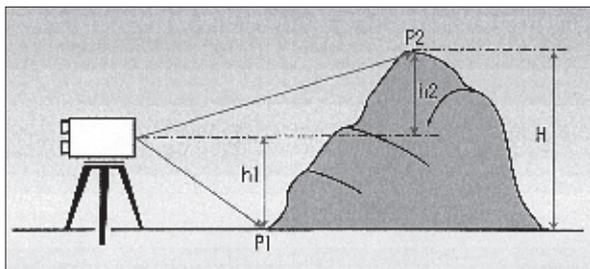
（定価 一〇八円）

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合



2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定寸法	高さ・水平距離・斜距離
重量	W64・H64・D180
付属品	650g
	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



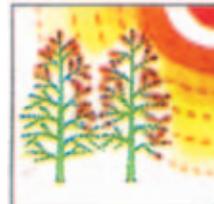
3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



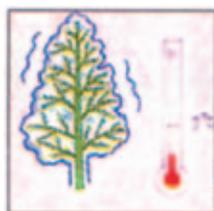
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒963-8052 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生獣類から大切な植栽木を守る

ヤシマレント

ヤマビル対策に

マリックスター(駆除剤)

蜂さされ防止

ハチノックL(楽退治)
ハチノックS(携帯用)

タケを駆除する

クロレートS

**大切な日本の松を守る
住化グリーン®の林業薬剤**

ヤシマスミバイン乳剤
ヤシマスミバインMC
グリーンガードNEO
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剤2
マッケンジー

くん蒸用生分解性シート

与作シート(茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリーバック使用)

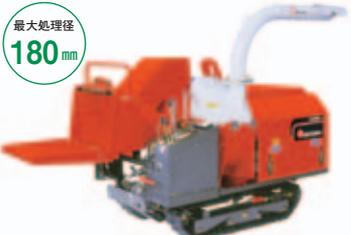


住化グリーン株式会社

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号 TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。 機器はゼノアから

チッパシュレッダ



竹もOK!
SR3000-2
出力 22.3kW (質量1,330kg)
水冷ディーゼル
X379301020
¥3,375,000(税抜)

プロソー



GZ3950EZ
排気量 39.1cm³ (質量4.4kg)
40cm(16")
RSP 21BPX 967159403 ¥111,200(税抜)
95VPX 967159303
HS 25AP 967159104
91VXL 967159204



GZ4350EZ
排気量 43.1cm³ (質量4.4kg)
45cm(18")
RSP 21BPX 967160502 ¥137,700(税抜)
95VPX 967159902
HM 21BPX 967160504
95VPX 967159904

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1